

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和4年11月4日

作成担当部署 安曇野市役所 商工観光スポーツ部 観光課 観光施設担当

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社ほりで一ゆー

代表者名 代表取締役 小平 博章

所在地 安曇野市堀金烏川11番地1

設立年月日 平成7年3月30日

資本金 3,200万円【安曇野市の出資額（出資割合）2,850万円（89.1%）】

業務内容 ほりで一ゆー～四季の郷及び周辺施設の管理運営

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社ほりで一ゆー（以下「同社」という。）は、都市と農村の交流の活性化に向けて旧堀金村が整備したほりで一ゆー～四季の郷等の管理運営を行うことを目的とし、平成7年3月、旧堀金村を始めとする関係団体からの出資を受けて設立された第三セクターである。

株主からの出資金3,200万円（うち、市の出資額2,700万円、出資比率84.4%）を資本金として事業を開始したが、令和2年3月からのコロナ禍により資金繰りが急激に悪化、令和2年7月～8月に1億4,000万円を借入し、運転資金を確保した。しかし、その後もコロナ禍の影響は続き、令和3年度決算において、債務超過に陥った。

令和4年3月には、既存の株主1者が保有する同社株式を市が買い受けることとし、市の出資額は2,850万円、出資比率は89.1%となった。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

市では公共施設再配置計画を策定し、民間代替可能な施設については、譲渡又は廃止をする方針としている。同社が指定管理者となっているほりで一ゆー～四季の郷等についても、譲渡を検討してきたが、地権者から同意を得られなかったことから、施設の耐用年数である令和21年度までは指定管理者制度による管理を継続する方針である。

市としては今後も同社を指定管理者として施設を運営していく方針であるが、今後の経営改善を図るため、経営ノウハウを持つ民間事業者に経営権を移譲し、経営健全化を図る方針としている。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

第三セクターとしては、閑散期の宿泊停止、清掃委託契約・リース契約の見直しを行い、コストを抑える取組を行っている。営業活動としては、県内はもとより、県外の旅行会社・バス会社を新たに訪問しツアーや学習旅行の誘致を行った結果、成果が出始めている。このようにコロナ禍においても損失を抑える経営努力を行っている一方で施設規模が大きく、コストが嵩むことから、利益を確保するには上記の取組だけでは限界があり、令和4年度から創業以来初めての基本料金改定、コテージの冬季暖房費付加に加え、人件費の抜本的な見直しを行うこととした。

市としては抜本的な経営健全化を図るため、経営ノウハウに優れた民間事業者に経営移譲をするべく令和4年9月から公募手続きを開始するとともに、毎月の経営状況を確認し必要に応じて助言や意見を伝え、事業の着実な取り組みを促している。

これらの取組を行い、令和元年度以前（コロナ禍以前）の水準まで売上高を引き上げることで、年額500万円程度（売上高の1%程度）の累積赤字の解消に繋げ、5年後には債務超過を解消できる予定である。

6 法人の財務状況

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

期	第25期	第26期	第27期
決算期	令和2年3月31日	令和3年3月31日	令和4年3月31日
事業期間	12か月	12か月	12か月
資産総額	133,351	253,457	156,407
うち現預金	103,993	210,348	123,737
うち売上債権	3,462	6,664	5,235
うち棚卸資産	11,584	9,811	10,574
負債総額	32,647	204,481	164,386
うち借入金	0	140,000	140,000
うち市の損失補償額	0	0	0
純資産額	100,704	48,975	△7,979
うち資本金	32,000	32,000	32,000
うち繰越利益剰余金	68,704	16,975	△39,979

(2) 損益計算書

(単位：千円)

期	第25期	第26期	第27期
決算期	令和2年3月31日	令和3年3月31日	令和4年3月31日
事業期間	12か月	12か月	12か月
売上高	471,047	185,853	203,505
売上原価	114,700	39,564	39,829
売上総利益	356,347	146,289	163,676
営業利益	26,170	△103,110	△89,402
経常利益	31,710	△51,546	△56,772
当期純利益	31,528	△51,729	△56,954